

令和2年度 第1回学校運営協議会

令和2年度 大阪府立野崎高等学校 第1回学校運営協議会議事録

日時：令和2年5月26日（火）

14:05～16:00

於：本校会議室

司会：教頭・会長

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 会長選出
- 4 学校より
- 5 協議・意見交換
- 6 会長より

-
- 1 校長挨拶
 - 2 出席者紹介
 - ・資料名簿による委員紹介及び事務局メンバーの紹介
 - 3 会長選出
 - 4 学校より

ア) 校長より

平成31年度 学校経営計画及び学校評価

修正点について説明（入試において、定員割れを避けなかったことについて）

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

修正点

1 生徒の自己実現を最大限に支援する学校づくり

(1) イ ICT活用について、オンライン授業実現のために現在YouTubeを活用した教材作成に取り組んでいる。

エ カリキュラムについて、現1年生から、2年生以降に選択するコースについて名称・選択内容を変更した。

2 すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくり

今は学校に来られない状況にあり、間もなく学校が再開される状況となり、生徒の現在の生活状況や今後の学校生活についてさまざまな懸念がある。生徒の生活状況等の把握する、スクールカウンセラーの回数を増やす、等の対応をしている。

3 地域としっかり連携して生徒を育てる学校づくり

(3) 入試において定員充足を達成するため、地域連携が最重要課題と認識している。

イ) 首席より

(生徒生活アンケート結果について)

生活リズムが昼夜逆転になっている生徒や、食事が1日2食の生徒、炭水化物中心になっている生徒など、生徒の生活実態と懸念すべき状況が浮き彫りとなった。

(野崎高校ネットワーク環境の状況調査結果)

- ・インターネットに接続できる環境がある生徒が96%
- ・自分専用の端末を持っていない生徒もいる。(16名)
- ・DVDを視聴できる生徒は53%。
- ・自宅のプリンターで印刷ができる生徒は27%。
- ・オンライン授業等に参加する場所として思い当たる場所がない生徒が72名(12%)

ウ) 教務部より

- ・4月当初に作成した行事予定はあったが、4月上旬の緊急事態宣言により白紙となった。明日教育庁から通知があり、改めて作成する予定で、今はお示しできるものがない。
- ・現在は水曜日3年生、木曜日2年生、金曜日1年生の登校日を設けている。

エ) 生徒指導部より

- ・重点目標

①規範意識の向上

十分指導できているのは頭髪指導のみというのが実情。服装など身だしなみの指導、交通安全指導など、指導の在り方についての見直しを行っていかうと考えている。

②登校遅刻及び授業遅刻数の減少

生活習慣の改善などについて時間をかけて考えていきたい。

登校に対する不安に向き合いたい。

授業を大切にしたいとの考えから、授業遅刻指導を行ってきた。指導方法を大幅に改定した。

③生徒会活動・部活動の充実

継続の方向(新型コロナの対策をして)

④生指案件への迅速で丁寧な対応

補導委員会、補導報告や補導会議のあり方を明確にした。

- ・新型コロナ対策

登校時、消毒指導を行っている。

オ) 進路指導部より

今年度の3年生は、例年より就職希望者が多い。進学では看護希望5名が例年より多い。

大学・看護系希望者に2か月の指導の遅れをどう取り戻していくかが課題。

今春卒業の42期生1名進路未定者が就職できたとの報告があった。

カ) 総務部より

・オンライン授業について

本校では次のような教材作成に取り組んでいる。授業動画（YouTube 利用）授業プリントに QR コードを付けて、スマートフォンを利用する場合それをカメラで読み込むことで再生する。見ながらプリントを完成させていく。しかし、第2波が来て登下校が全くできないとき、プリントをどうやって送り、回収するのが課題。

実際の様子をプロジェクターにて動画を提示

①現代社会 パワーポイントのスライドを動画化したもの

②体育「野崎体操」 ビデオカメラで撮影したもの

6月1～12日にオンライン授業を試行実施する予定。

現代社会について実際に1年生にオンライン授業に取り組んでもらい、感想・コメントを集めた。課題プリントの未提出者は27.2% ネット環境がないなどインフラ面で不都合がある生徒も実際いるかもしれないので追及が必要である。穴埋めを完成させるだけではなく、プリントにメモなどを積極的に書いていた生徒もいた。

キ) 人権推進委員会（および総務部）より

生徒向け、教員向けの人権公演がこのような状況の中、白紙の状態となっている。しかし、何もしないというのではないと考えている。

5 協議・意見交換

○生徒生活アンケートについて

- やはり家庭環境というのは非常に大事だと感じた。オンライン授業を受けるにしても、インフラ、生活空間の問題など、いろんな面で格差が出ている。
- （炭水化物中心の）食事については、年下の兄弟の食事のことも一緒に何とかしているのかもしれない。
- 学校経営計画の「安全・安心」きめこまやかな相談・支援が非常に大事になってくるのではないか。学校のみならず、スクールカウンセラー等外部の人の関わりが非常に重要になってくるのではないか。

○新型コロナウイルス感染拡大防止

- 学校再開に向けては、生徒と先生の安全性の確保が最優先課題であり、朝の体温の確認などが必要である。一方でこれからの季節は熱中症も心配である（マスク、フェイスシールド）。
- 会社では朝だけでなく昼にも検温を行っているところもある。
- 意識の問題がまず大切で、生徒に対してもマナーやエチケットを身に付けさせる指導が必要。この間、在宅という言い付けは結構守られていたと保護者からは聞く。
- 文化祭、体育祭、修学旅行などの学校行事は、そもそも実施できるのか、授業だけでな

く可能な限りそういったものも大事にしていきたいところだが、授業を確保しながらどのように入れ込んでいくのかという問題もある。

- 生徒や保護者の気持ちとしては、学校行事がどうなるのか、あるのかないのか、そういったことが大変気になっており早く知りたい。クラブ活動にしても同様である。
- 学校行事においても感染拡大防止対策を十分講じて決定していかなければならない。
- 部活動については、インターハイや甲子園が中止となり、モチベーションが低下しているだろう。各種検定についても実施できなくなっているものが多数ある。自己推薦型の総合型選抜においてアピールできるものを残すチャンスが失われた。それでも、大学等においては実施の方向である。
- 医療の関係者に対する新型コロナの人権という角度から見て新しい差別が出てきている様子。日常生活においても、近所の人の様子から感染を疑うようになっていたり、関わらないようにしよう、人と会わないようにしようという心理がはたらいたりしていることがうかがえる。

○オンライン授業関連

- (大学関係者の委員より) 大学でもネット会議を行っている。最初のうちはとまどいもあったが、何回かやっているうちに慣れた。
- 委員より、10分くらいの動画を作成するのにどれくらい時間がかかったとの質問(もともとあったパワーポイントの教材を利用しているため完全に一から作成するのにどれくらいかかるかは答えられなかった)。
- 感染拡大の第2波が来た場合に備えて、その状況に対応するため、オンライン授業の体制を整えておく。課題は家庭のインフラが整っていない生徒への対応、パソコンでオンライン教材を作成するのに困難を感じている教員へのサポートなど。

○高校入試における定員割れ、広報活動関連

- 定員割れの問題については、これで2年連続であるが、改編の対象となるなどの状況は条例で決定した通りで変わってはいない。対象校決定の翌々年度から募集停止となる。府教委の方で判断する。
- 定員割れで統廃合の対象とならないよう、野崎高校ならではの魅力を作り出せたらと願う。どうやって学校を残していったらいいか、考える時期。
- 新型コロナ感染拡大防止のため、広報活動も行えない状況である。野崎高校の学校ホームページはよくできているので今のやり方で続けていけば良いと思う。オンライン広報というのものもあるかもしれない。

○今春卒業した42期生の進路状況について、委員より質問

- 就職は内定率がここ10年間で最高だった。面接で受けが良かったりして、勉強面というより人柄で内定を勝ち取っているという印象。
- 進学については、浪人はいない。
- ただし未定のまま卒業する生徒がいる。自分の夢を追い続けるため、など事情がある。

以後は「卒後指導」というのがある。

校長より

- 最大の課題が定員割れの問題である。
- コロナ対応で現状の野崎高校を守らないといけない。